「娼婦マヤ」評

岸田國士

青空文庫

ギャンチヨンの戯曲「マヤ」は、もう、フランス劇壇の独占物ではなく、世界の舞台の演目のなかに数へられる傑作の一つとなつた。

娼婦マヤの肉体と精神は、作者ギャンチヨンの青春の夢を宿して、あやしい燐光を放ち、人肉の市にくりひろげられる腐臭にみちた生活図も、清純な抒情と東洋的精神の調合によつて、言はば、真珠色の霧につゝまれてゐる。

戯曲「マヤ」は、それゆゑ、もつとも生彩に富む演劇的スペクタクルであり、若々しい才能の開花を思はせる野心的な劇詩である。

この作者と親交があり、かつ、フランスに於けるこの劇の上演を見たといふ小松清氏が「マヤ」の翻訳を思ひたつたことは極めて自然でかつ、適材を得たものといふべきである。

青空文庫情報

底本：「岸田國士全集28」岩波書店
　1992（平成4）年6月17日発行
底本の親本：「娼婦マヤ　帯広告」白水社
　1950（昭和25）年3月20日発行
初出：「娼婦マヤ　帯広告」白水社
　1950（昭和25）年3月20日発行
※「娼婦マヤ」は、ギャンチヨン作、小松清訳。
入力：門田裕志
校正：noriko saito
2011年2月8日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

「娼婦マヤ」評

岸田國士

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/